

2014年度 公益社団法人乙訓青年会議所 委員長方針  
総務財政委員会 委員長 足立 雅也

本年度乙訓青年会議所は、35周年という節目の年を迎えます。これは先輩諸兄が「明るい豊かな社会」の実現に向け弛まぬ努力をして来られたからであり、責任世代を担う我々は、先輩諸兄が築いて来られたJAYCEEとしての誇りを次代へ引き継ぎ、地域から愛され、これまで以上に地域になくなくてはならない存在にならなければなりません。また、公益社団法人として4年目を迎える今、公益性と透明性のある運営方法を正しく執行する事は当然の事となり、この管理体制を継続出来る基盤を整える事が必要であると考えます。

総務財政委員会は、先輩諸兄が築き上げて来られた会議運営を継承しながら、建設的で活発な議論を重ねる為に、各委員会との連絡を密にし、情報の共有と意思の疎通を図り、円滑な議案上程が行える様に取り組みます。全ての事業は「計画立案」「実行」「結果検証・引継ぎ」というプロセスで行われます。その中で「計画立案」「結果検証・引継ぎ」が行われる会議運営を担う委員会として、責任と自覚を持ち活動して参ります。公益社団法人として我々が行う活動や事業は当然社会に役立つものであり、それに繋がるものでなければならないと考えます。また、それに掛かる事業費は、メンバーの貴重な年会費から拠出しているという自覚を持ち、事業目的に対する費用対効果に於いても十分に精査致します。役員セミナーでは、初めて役員を担われるメンバーが多数おられる事を考慮し、理事長から1年間の活動方針を講演頂きます。そして、2020年ビジョン達成に向け、新たな5カ年行動指針が策定される今年度、役員全員がどの様に活動して行く必要があるのかを伝える講演を実施し、役員としての責任や心構えを自覚して頂きます。また、管理体制を継続出来る基盤を整える為にも、システムやルールを周知徹底する事務事項説明会を開催致します。財務体制のより正確な引継ぎを行える財務専用の引継ぎマニュアル作りも進めて参ります。12月例会に於いては、1年間の活動の集大成として顕著な活動を行ったメンバーを褒賞にて称え、他のメンバーが今後更にJC活動に邁進する事への励みとなる様に設え、メンバーが活動して来た1年間を振り返り、次年度へと繋がる例会を行います。また、本年度行われる35周年記念式典、懇親会、記念事業が円滑に行える様に活動して参ります。そして、会員拡大活動、まちづくり事業、青少年育成事業に於きましては、各担当委員会と連携し、参加協力致します。

人生に限りがある様にJC活動も40歳で卒業を迎えます。また、単年度制で活動する1年間にも同じく限りがあります。会議を経て組織を動かす青年会議所に於いて限られた時間を有効に使用し、より良い事業の開催と組織運営を目指す為に、総務財政委員会メンバー全員が「時間対効果を高めよう」をテーマに時間を費用と捉え、各委員会にも周知徹底を図り不動の心で1年間活動して参ります。